

1. 目標

包括目標(Goal)

1. 指導医または上級医のもと、診察に必要な器具や機器を用いて、患者の気持ちや苦痛に配慮しながら診療を行い、治療することができるようになる。
2. 患者及びその家族、他科の医師や看護師、他職種の人々と積極的に関わりを持ち、意思疎通をしっかりとる（コミュニケーション不足にならないように努める）。

個別目標 (Objectives)

1. 患者に問診を行ったあと、頭頸部領域（耳、鼻、口腔、咽喉頭、頸部）の診察を行い、カルテに記載できる。
2. 患者に必要な検査を選択し、指導医または上級医のもと、検査・評価することができる。
3. 患者から得られた問診、診察所見、検査所見をまとめて、呈示することができる。
4. 指導医または上級医と相談し、患者の治療方針について、話し合うことができる。
5. 指導医または上級医の指導、監督のもと、患者に検査方法や治療方針についてわかりやすく丁寧に説明し、同意を得て、適切に検査・処置・手術を行うことができる。
6. 他科の医師や看護師、他職種の方たちと迅速かつ適切に連携をはかることができる。

2. 方略

1. 耳鏡、鼻鏡、舌圧子、間接喉頭鏡を使った基本的手技（観察・処置）の習得。
2. 喉頭内視鏡検査（適宜）の習得。
3. 頸部超音波検査（適宜）の習得。
4. 外科的処置（止血、縫合、カニューレ交換、ドレーン抜去など）の習得。
5. 手術（アデノイド切除術、扁桃摘出術、鼓膜切開など）の習得。
6. 採血、点滴、内服、画像・生理検査などのオーダー。
7. 前庭機能検査、特殊検査（嗅覚・味覚検査、顔面神経検査など）（月・水・金）の習得。
8. 術前カンファレンスでの症例呈示。（毎週月曜）。
9. 術後カンファレンスでの術後報告。（毎週月曜）。

上記のいずれも、指導医または上級医の同席、指導、監督が必要。

(耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 臨床研修プログラム

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
集合時間	8 : 30	8 : 30	8 : 30	8 : 30	8 : 30
場所	医局	医局	医局	医局	医局
	入院患者診察	入院患者診察	入院患者診察	入院患者診察	入院患者診察
	手術	外来 (初/再診)	手術	外来 (初/再診)	手術
	前庭機能検査		前庭機能検査		前庭機能検査
午後	手術	外来 (再診)	手術	外来 (再診)	手術
	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
	特殊検査		特殊検査		特殊検査
	術前・術後、問題症例カンファレンス				

病棟： C 棟 3 階 処置室

医局： 研究棟 7 階

3. 評価

1. EPOC2 で評価 (形成的評価)
2. 手術症例または担当症例レポート

4. 指導医 (指導医養成講習会を受講した医師)

原田みづえ、宮下圭一